

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管しておいてください。

第②類医薬品

総合かぜ薬

イブプロフェン、カンゾウ、キキョウ配合

ハイセーフ IB

◎登録商標

ハイセーフIBは発熱や痛み(のどの痛み、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)によく効く解熱鎮痛成分のイブプロフェンを配合しています。また、のどの炎症や痛みなどに効果をあらわすカンゾウ、せきやたんに効果をあらわすキキョウを配合したかぜ薬です。

ハイセーフIBは、かぜの諸症状の中でも発熱や痛みに優れた効果をあらわします。

⚠️ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

- 次の人は服用しないでください
 - 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
 - 15才未満の小児。
 - 出産予定日12週以内の妊婦。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
(眠気等があらわれることがあります。)
- 服用前後は飲酒しないでください
- 5日間を超えて服用しないでください

🗨️ 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 授乳中の人。
 - 高齢者。
 - 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。 高熱、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。 甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
 - 次の病気にかかったことがある人。 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎、胸やけ、胃もたれ、腹痛、下痢、血便、胃腸出血
精神神経系	めまい
循環器	動悸
呼吸器	息切れ
泌尿器	排尿困難
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中・の痛み、過度の体温低下、からだがかたくなる

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。

その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しき、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

裏面に続く

症状の名称	症 状
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつばりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等の症状があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。)
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。


- 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。便秘、口のかわき、眠気
- 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください(特に熱が、3日以上続いたり、又熱が反復したりするとき)

<効能・効果>

かぜの諸症状(鼻みず、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

<用法・用量>

次の1回量を1日3回食後なるべく30分以内に服用してください。

1回量	大人(15才以上)	15才未満
	2カプセル 	服用しないこと ×

用法・用量に関連する注意

<PTPシートの取り出し図>

(1)定められた用法・用量を厳守してください。

(2)カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出してから服用してください。

(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながります。)



<成分・分量>

1日量(6カプセル)中

成 分	分 量	はたらき
イブプロフェン	450mg	発熱、のどの痛み、頭痛、関節や筋肉の痛みに効果があります。
チベピジンヒベンズ酸塩	75mg	せきの中樞に作用してせきをしずめ、たんを切ります。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	7.5mg	抗ヒスタミン作用により、くしゃみ、鼻みず、鼻づまりの症状をおさえます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支をひろげてせきをしずめ、たんを切ります。
カンゾウ乾燥エキス (原生葉換算量500mg)	64mg	かぜによるのどの炎症や痛みを抑えます。
キキョウ乾燥エキス (原生葉換算量400mg)	40mg	たんをうすめて、たんの切れをよくします。
無水カフェイン	75mg	脳の血管に働いて、頭痛をしずめます。

添加物:乳糖、トウモロコシデンプン、カルメロースCa、ヒドロキシプロピルセルロース、部分アルファー化デンプン、ゼラチン・ラウリル硫酸Na(カプセル本体)

保管及び取り扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は次の所にお問い合わせください。

大昭製薬株式会社 おくすり相談室 電話 0748-88-4181

受付時間 9:00～17:00(土、祝日を除く)